

春の「緑の募金」街頭募金活動 皆さんの善意で森林づくり

4月17日、爽やかに晴れ渡った青空の下、公益社団法人高知県森と緑の会の主催による春の「緑の募金」街頭募金活動が、高知市の中央公園一帯で行われました。

中央公園での出発式で高知市環境部長からご挨拶をいただいた後、緑の少年団やボランティアの皆さんと一緒に少しずつ人出の戻り始めた中央公園付近で募金活動を行い、橋本裕治局長も募金にご協力いただいた方々に花の種や「高知の山歩き手拭い」等のグッズを配布しました。

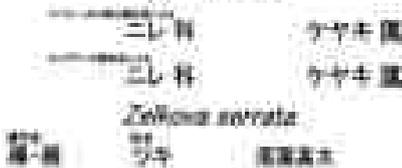
今年も感染症対策を考慮し声かけは控えめとなったイベントでしたが、多くの皆様から心のもった募金が集まりました。

ご協力いただいた募金が、森林整備や緑化推進、子ども達への森林環境教育、そして木の文化の普及活動の一助になることを期待します。



庁内に設置した樹木名版の中から二種類の紹介

ケヤキ



ムクノキ



4. 1付 着任しました。
よろしくお願いたします。

技術普及課長

(前 林野庁森林整備部計画課保険管理官)

名本 亮介

企画係

(前 徳島森林管理署)

有澤 菜穂

編集後記

ケヤキの名前の由来は、木目が美しいことからケヤケキ(異樹)の意、尊い、秀でたの意味も含み、キメアヤギ(木目綾木)、カヨキ(香木)の転訛など諸説あり、材は材質が硬く、摩耗に強い、長年腐朽しないため、社寺建築、臼、盆、漆器などに賞用されています。葉には鋸歯があります。苗は、1本仕立て(頂芽・芯を切ると将来直材になりにくい為、枝が育つと樹形はホウキ状になってしまいます。)にしないと通直幹満な木に育ちません。一本仕立てが良い樹種は、他にイチイ、カヤがあります。

ムクノキは葉を乾燥させて木地やべつ甲の研磨材に重用され、小粒の実好んで食べられたと、「古事記」や「和名抄」に記述があります。アメリカ大陸に最初にいった人類は、ルーツをアジアにもつことが確認され、約1万2000年前に丸木舟(ムクノキ材)で大陸から大陸の近海伝いに漁をしながら渡っていったことが近年わかってきました。ムクノキの分布は、日本の本州(関東地方以南)、四国、九州、沖縄、アジア島南部といわれています。ロマンを感じます。ケヤキとムクノキの一口メモでした。